

政策体系	基本目標名	3	魅力と活力ある産業づくり	施策主管課長	北関東自動車道沿線開発推進室長
	政策名	1	産業振興で活力のあるまちづくり		
	施策名	3	北関東自動車道沿線開発と企業誘致の促進		
施策関係課	政策調整課、商工・企業誘致課、都市計画課、都市整備課			三関 純一	

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	H26	H27	H28	成果指標設定の考え方
	①企業(佐野市に進出を希望する企業) ②産業振興拠点 ③土地利用調整エリア	①企業数(佐野市に進出を希望する)	社	40	66					
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどう状態にするのか ①企業の誘致を促進する。 ②産業団地の造成を推進する。 ③土地利用調整エリアを開発可能な区域へ転換を図る。	①	①	①	①	①	①	①	①佐野市に進出した企業数の推移を見ることにより、企業誘致の成果が把握できることから、指標として採用した。 ②分譲可能な面積を把握することにより、産業団地の造成の状態が把握できることから、指標として採用した。 ③土地利用調整エリアを開発可能とする箇所数を把握することにより、新たな開発が期待できることから、指標として採用した。	
		②	②	②	②	②	②	②		
		③	③	③	③	③	③	③		③
		④	④	④	④	④	④	④		④
成果指標(意図の達成度を表す指標)		区分	単位	H26	H27	H28	H29	成果指標の取得方法		
①	佐野市に進出した企業数(累計)	目標	社	3	6	7	12	① 商工・企業誘致課資料 ② 商工・企業誘致課、都市整備課資料 ③ 都市計画課資料		
②	分譲可能な面積(累計)	目標	ha	22.7	32.6	32.6	38.4			
③	土地利用調整エリアを開発可能とする箇所数	目標	件	0	0	0	1			

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H26	H27	H28	H29	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H26	H27	H28	H29
産業団地造成の推進	①佐野田沼インター産業団地 ②佐野インター産業団地(第2期)	①産業団地が造成されている。	① 佐野田沼インター産業団地造成進捗率	目標	%	100	-	-	-	出流原PA周辺総合物流開発整備の推進	①出流原PA周辺地域	①総合物流拠点として開発・整備されている。	① 事業化件数	目標	件	-	-	-	1
			② 佐野インター産業団地(第2期)造成進捗率	目標	%	10.0	40.0	100	-				②	実績	件	1	-	-	-
			① 佐野田沼インター産業団地に進出した企業数(累計)	目標	社	3	6	7	8				① 新たな土地利用調整エリアの開発構想の策定数(累計)	目標	件	-	1	2	3
			② 佐野インター産業団地(第2期)に進出した企業数(累計)	目標	社	-	-	-	4					②	実績	件	-	-	-

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	平成27年度施策の取組方針		取組方針		成果指標		施策の取組方針・成果指標達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 佐野田沼インター産業団地第2期分譲地の早期売上を目指す。 西浦・黒袴第二工区の造成工事を計画的に推進する。 各産業団地の連携を図り、企業誘致を推進する。 佐野インランドポートの計画的な整備推進と運営方法の検討を進める。 出流原PA周辺総合物流開発に向けた関係省庁等との協議を進める。 出流原PASスマートインターチェンジの設置に向けた調整を進める。 	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<ul style="list-style-type: none"> 佐野田沼インター産業団地第2期分譲地の残り1区画については、完売に至らなかった。 西浦・黒袴第二工区の造成工事を計画的に推進した。 各産業団地との連携により、企業誘致を推進した。 佐野インランドポートの整備については、計画通り進められた。運営方法は、指定管理制度による管理運営と定め、指定管理候補者の選定に至った。 出流原PA周辺総合物流開発については、関係省庁等との協議を行うとともに、事業に関する構想書をまとめた。 出流原PASスマートインターチェンジの設置に向けた取り組みとしては、国土交通省の定める「準備段階調査箇所」に位置づけられるよう、関係機関との調整を図った。 			

基本事業	平成27年度基本事業の取組方針		取組方針		成果指標		基本事業の取組方針・成果指標達成状況	
	産業団地造成の推進 ・佐野田沼インター産業団地については、土地区画整理事業の手続き(公共施設引継・換地処分)を進める。 ・(仮称)佐野インター産業団地(第2期)については、土地区画整理事業の計画に基づき、造成工事を進める。	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<ul style="list-style-type: none"> 佐野田沼インター産業団地については、土地区画整理事業の手続きを計画通り進めた。 佐野インター産業団地(第2期)については、事業計画に基づき工事を進め、目標以上の進捗となった。

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等		施策の成果向上に向けての役割分担	
	<ul style="list-style-type: none"> 近年では、販路拡張やコスト削減を目指すため、大手企業の海外進出が増加している現状であるが、アベノミクス効果やチャイナリスク等により景気回復や生産拠点の国内回帰の兆しが見える。このような状況下において、大手企業における景気回復は実感できるものの、地方における景気には未だ恩恵がないのが現状であり、その打開策として、現在、地方創生が進められている。 圏央道が東名、中央、関越、東北道とつながり、さらに交通利便性が向上した。 県では、本県の持つ立地優位性を活かし、補助金や融資などによる企業立地を支援している。 市議会議員からも、財政基盤強化のため、産業団地・企業誘致を図るよう意見が出されている。 近隣都市との企業誘致競争が激化している。 市議会には、出流原PA周辺総合物流開発整備事業の早期実現を望む意見がある。 	市民、地域・事業所	行政	<ul style="list-style-type: none"> 【市民、地域・事業所】 ・地権者等で組織した審議会は、事業の推進に協力する。 ・佐野市企業誘致推進連絡会議を通して、進出企業の情報の提供など、企業誘致・立地定着事業への協力・参画を行う。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 佐野インター産業団地(第2期)の造成については、目標を上回る進捗が図れた。 佐野田沼インター産業団地(第2期)については、積極的な誘致活動により、誘致企業を決定したが完売できなかった。 佐野インランドポートについては、一部工事に着工するとともに、指定管理候補者を選定した。 出流原PA周辺総合物流開発については、調査地区から第1段階となる絞り込みを行い、調査事業の成果として構想書を策定した。 出流原PASスマートインターチェンジについては、設置に向けて各関係機関との調整を図った。 土地調整エリアについては、現在、出流原PA周辺の開発構想をまとめ、開発に向けた取組を進めている段階であるため、残り6か所については検討できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 〈平成28年度で解決する課題〉 ・佐野田沼インター産業団地の完売 〈平成29年度以降にも引き継がれる課題〉 ・佐野インター産業団地の早期完売 ・佐野インランドポートの早期完成と運営 ・出流原PASスマートインターチェンジの事業化 〈平成29年度重点課題〉 ・佐野インランドポートの早期の供用開始 ・出流原PA周辺総合物流開発整備の事業計画の策定に伴う調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野インター産業団地(第2期)は、造成工事を進め、9月末に完了させる。(29年度のみ) ・佐野インター産業団地の早期完売に向けた企業誘致を推進する。 ・平成29年度中の供用開始に向け、佐野インランドポート整備の進行管理及び荷主や船社へのポートセールス ・出流原PA周辺総合物流開発整備に向けた取組を推進する。 ・出流原PASスマートインターチェンジ設置に向けた取組を推進する。